

金融審議会
『我が国金融業の中長期的な在り方』WG

マイクロ投資の現状について

2011年12月16日

ミュージックセキュリティーズ株式会社

代表取締役 小松真実

Introduction

マイクロ投資とは

「マイクロ投資」とは、個人が非常に小口で企業や事業に投資できる手法であり、投資を受ける企業は、事業単位で資金調達ができる。

主に、匿名組合のスキームが用いられ、金融商品取引法に準拠する。

多くの場合、投資期間は1年から5年間程度であるが、投資対象の事業計画によっては、3か月程度の短期間のものや、10年間の長期間に及ぶものもある。

投資対象事業の売上が投資家への分配原資となり、投資時の契約に基づく割合とタイミングで、投資家へ分配される。

▶ 当社の主たる投資プロジェクト

種類	プロジェクト数	1件あたりファンド募集総額	説明
音楽	56件	50万～7,739万円	音楽CD制作・販売
純米酒の酒蔵	16件	440万円～3,335万円	純米酒製造・販売
開発途上国支援	3件	2,850万円～5,292万円	海外のマイクロファイナンス機関向け
農林業	6件	888万円～4,940万円	お米の生産・販売、放牧豚の飼育、林森の施業・木材販
スポーツ	1本	5,296万円	Jリーグチーム運営
被災地応援	28本	700万～1億円	被災地の復興

✓ これまで累計で144件手掛け、-33.56%～+55.03%の実績（単純平均:+4.23%）

市場の規模

➤ 当社と類似する他社のファンド規模

	募集金額	ファンド本数	最低出資単位
自然エネルギー系	2,881,700,000円	12ファンド	10万円～50万円より
ワイン系	3,700,000,000円	6ファンド	100万円～300万円より
当社	2,447,562,100円	144ファンド	1万円より
合計	9,029,262,100円		

1.投資家層と投資動機

投資家属性

▼男女比及び年齢の分布

	男性	女性
	66.85%	33.15%
20～29歳	14.84%	15.80%
30～39歳	32.88%	32.81%
40～49歳	24.37%	23.91%
50～59歳	14.41%	15.31%
60～69歳	10.30%	9.08%
70～79歳	1.86%	1.59%
無効含むその他	1.35%	1.50%
合計	100.00%	100.00%

▼職業分布

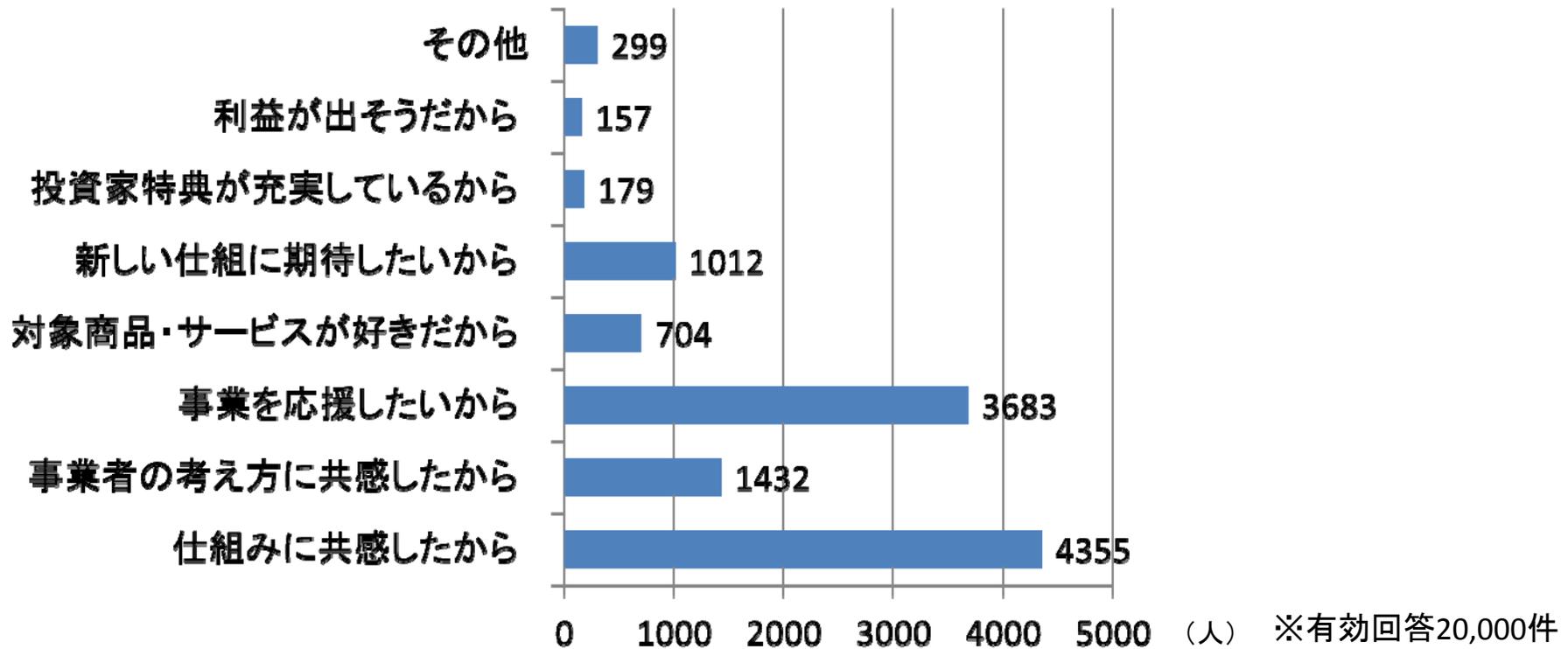
会社員	34.78%
公務員	2.99%
会社役員	2.59%
自営業	6.08%
主婦	5.56%
学生	7.65%
アルバイト・パート	4.04%
その他	8.27%
無効	28.04%
合計	100.00%

▼県別分布

北海道	5.31%	滋賀県	0.88%
青森県	0.65%	京都府	2.04%
岩手県	0.94%	大阪府	7.22%
宮城県	3.25%	兵庫県	4.12%
秋田県	0.51%	奈良県	0.89%
山形県	0.56%	和歌山県	0.46%
福島県	0.73%	鳥取県	0.38%
茨城県	1.70%	島根県	0.34%
栃木県	0.98%	岡山県	1.43%
群馬県	0.95%	広島県	1.37%
埼玉県	6.00%	山口県	0.66%
千葉県	5.45%	徳島県	0.32%
東京都	22.03%	香川県	0.52%
神奈川県	9.49%	愛媛県	0.54%
新潟県	0.79%	高知県	0.32%
富山県	0.59%	福岡県	2.74%
石川県	0.66%	佐賀県	0.27%
福井県	0.39%	長崎県	0.47%
山梨県	0.41%	熊本県	0.60%
長野県	1.05%	大分県	0.49%
岐阜県	1.17%	宮崎県	0.41%
静岡県	1.99%	鹿児島県	0.56%
愛知県	5.27%	沖縄県	0.70%
三重県	0.94%	海外	0.46%

※それぞれ有効回答20,000件

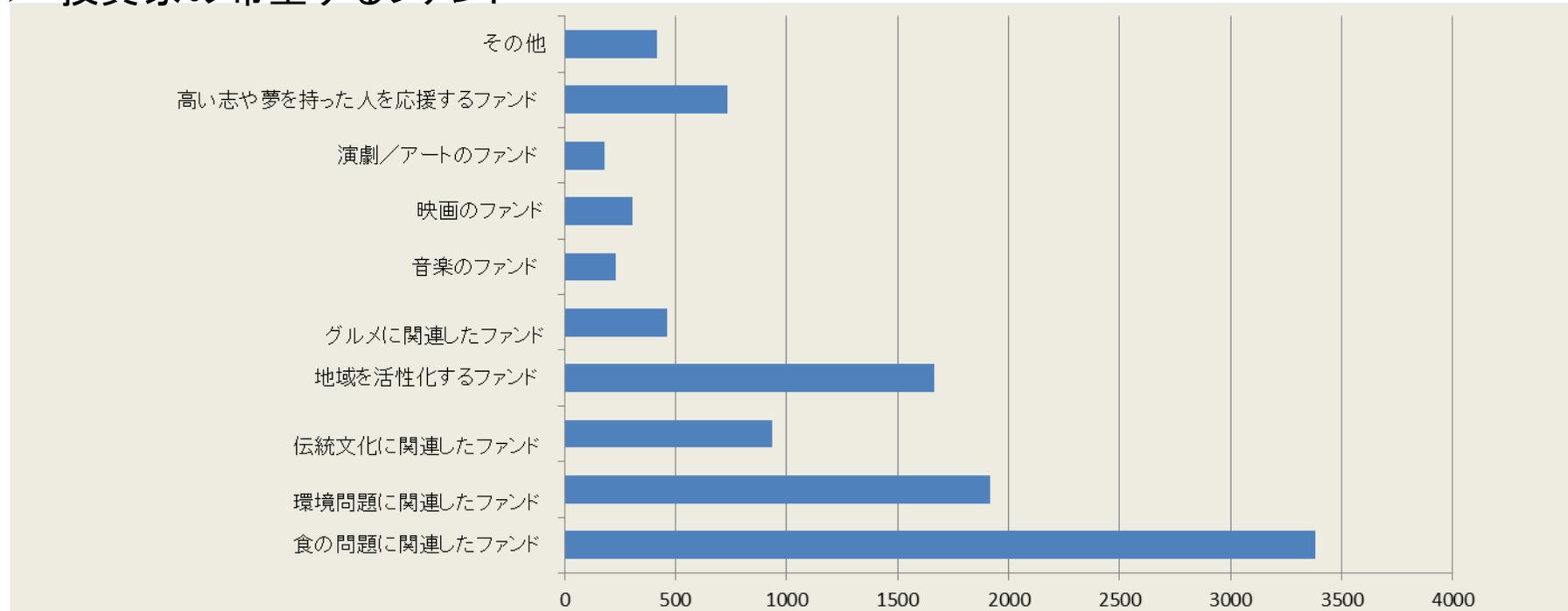
動機



- ✓ 事業者を応援したい、事業者の考え方に共感した、を合計すると、最多である。
- ✓ マイクロ投資という仕組みそのものへの共感が多い。
- ✓ 利益が出そうだからが非常に少ない。

投資家が希望する事業

➤ 投資家の希望するファンド

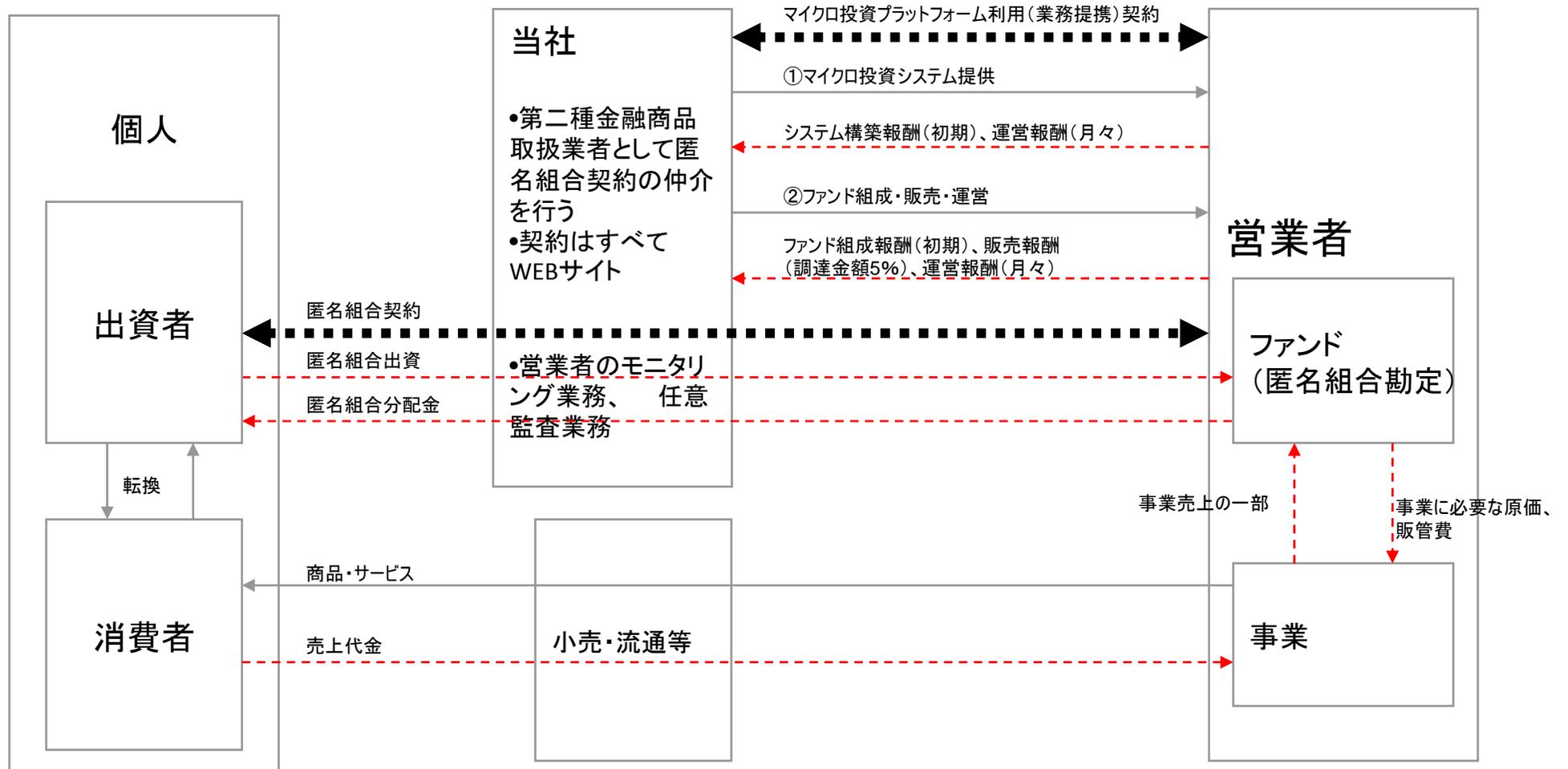


➤ 投資家が投資した事業者からもらいたい情報



2.資金の流れ

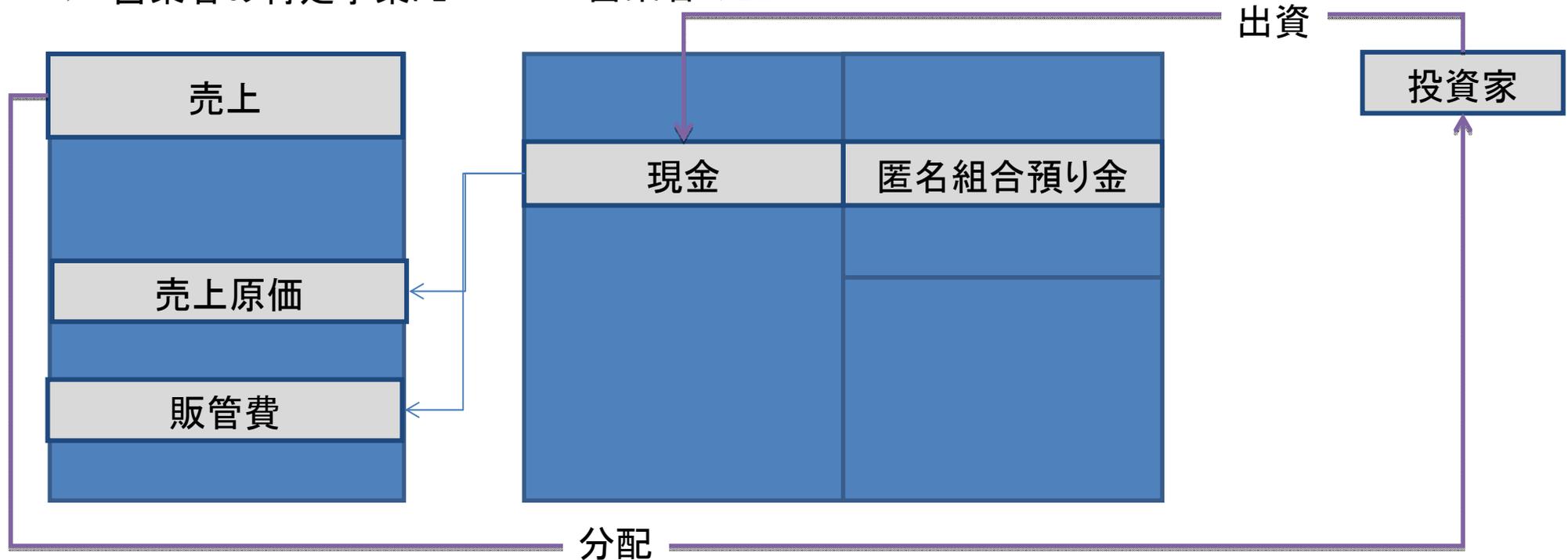
仕組み



仕組み②

➤ 営業者の特定事業PL

➤ 営業者のBS

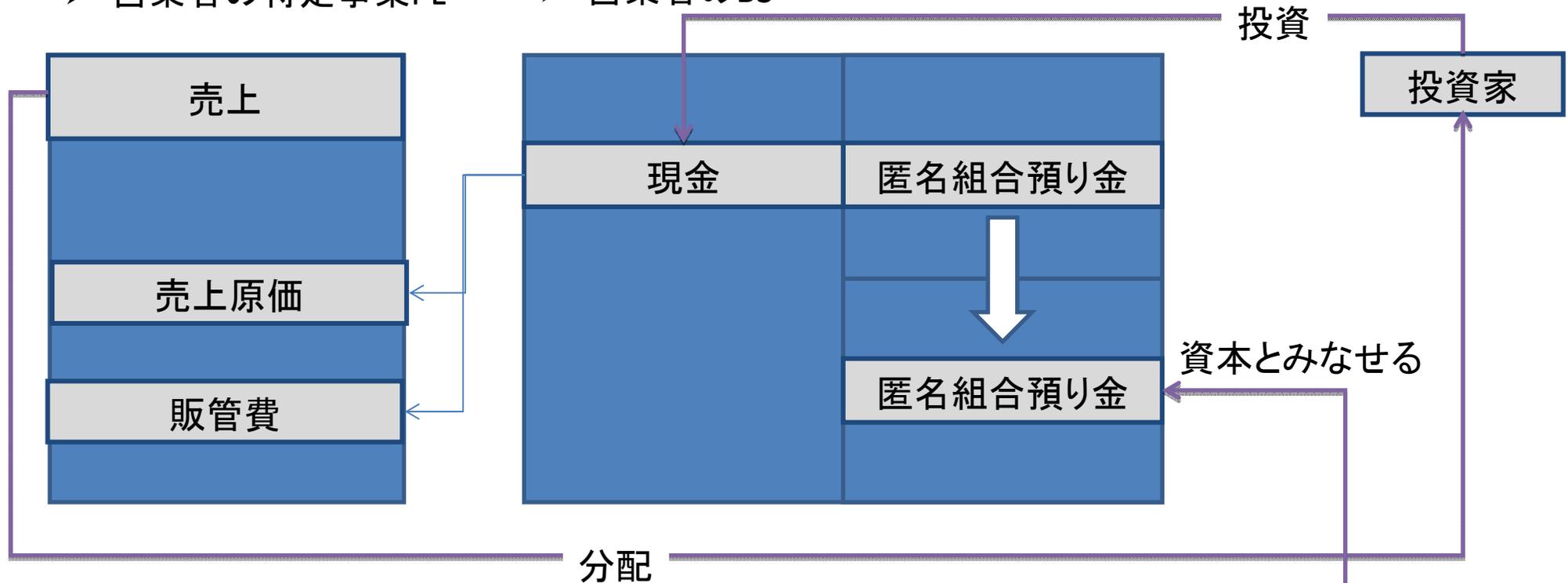


- ✓ 企業は、特定事業の原価及び販管費を、匿名組合出資によって調達することができる。
- ✓ BSの現金と匿名組合預り金は、分配に応じて減少する。
- ✓ 匿名組合預り金は負債勘定になる。
- ✓ 通常のベンチャーキャピタル等からの出資と異なり、株式を割当ててことはない。よって経営の自主性が重んじられる。
- ✓ 銀行からの融資と異なり、返済義務があるわけではなく、毎月の返済があるわけではない。匿名組合契約によって約した事業売上の一定割合を、約したタイミングで分配する。

仕組み③＜金融検査マニュアルの明確化後＞

➤ 営業者の特定事業PL

➤ 営業者のBS



- ✓ 2011年11月22日、金融庁より『十分な資本的性質が認められる借入金』（「資本性借入金」）について、「資本」とみなすことができる条件』が発表された。
- ✓ 銀行は、匿名組合預り金を、一定の条件下で、資本としてみなして融資の評価を行うことができ、融資がしやすくなる。
- ✓ 資本不足に直面している企業のバランスシートの改善を図られ、経営改善につながる。

マイクロ投資の将来性

- ✓ マイクロ投資を利用する企業は、既存の資金調達手段と異なり、こだわりたいこと(待ってくれる資金)、守りたいこと(経営の自主性)を大切にしながら、事業のシードマネーを調達できることに、メリットを感じている。
- ✓ そのこだわりや、守りたいことに、共感・応援したい個人が多く存在する。また出資者になることで、対象事業の成長可能性も高まることが期待できる。

3.投資の成否を分けるもの

当社の支援体制および内容

当社からの支援体制

- 出資者が消費者へなることへの支援
 - WEBサイトによるEC
 - メール、ソーシャルメディアを通じた宣伝活動
 - 説明会の開催
 - 出資者によるソーシャルメディアを通じた商品の告知効果
- ファンドを組成・募集することによるPR活動
 - 多くのTVや新聞等で取り上げられることが多い
- 当社の公認会計士による会計的支援
- 投資先企業同士の協業の促進

具体例の紹介①

1. 事業計画(資金繰表)の作成

必ず現地を訪問し、先方の状況を現場で確認。また、今後の製造・販売方針等については、ヒアリングを通じて明確化した上で、具体的な商品ごとの積上げに裏付けられた事業計画の作成を支援している。

具体的には、面談・電話等で当社が先方の方針をヒアリングし、エクセルの計画表に落とし込み、当社の公認会計士がチェックのうえ、平均3-5回程度のヒアリング・相談を実施し、確定をさせている。

この支援は、ファンドの事業者と出資者の方々との収益の分配の合理性を高める上でも重要なため、ファンド対象事業者の全てに実施している。

例: 御菓子司木村屋様

「こうした詳細の計画を作成したのは初めてのことであり、今後の事業運営時の指針とすると共に、これをこのまま地域金融機関の借入の際にも使用したい」との声。

例: ヤマジユウ様

既に金融機関に提出した事業計画書を元に、債務超過でもあり、また高い目標設定となっていたため、特にその売上計画については、具体的な営業先、原価設定、想定顧客数、単価、かかる費用項目を全て一緒に見直し、細かく具体化し、実現が見える積上げの売上予測を作成しなおした。1日2時間以上の電話を1週間程度継続して実施し、「ここまで一緒にやってくれる金融機関はない」との声。

具体例の紹介②

2. プロモーション・広報支援

(メディア広報)

当社からメディアへ魅力的な企業があるという紹介を行いメディア上にて社名および商品の紹介をしてもらうことで、認知度向上の支援を行っている。これらの支援については、ファンド対象事業者の全てに行っており、プレスリリースを作成・メディアへの電話・訪問営業を行い、一つ一つのメディア露出へつなげている。

(イベントの企画・実施)

東京、仙台、盛岡、福岡等全国各地にて、事業者の方々を紹介する説明会・セミナーを当社が主催・集客を行い実施している。渡航費は全て当社が負担している。また、他社主催のセミナーについても、ファンド対象事業者を積極的に紹介。

(その他プロモーション)

各自治体や自治体の物産ショップ、県人会、姉妹自治体(例:宮古市と品川区、気仙沼市と目黒区)などにもプロモーション協力依頼を働きかけ、ファンド対象事業者を紹介。また、当社の子ファンド対象事業者には、相互に紹介しあうように依頼しており、それぞれが互いにチラシの配布などを行っている。

例: 齊吉商店様

テレビ東京「ガイアの夜明け」の制作会社へ紹介を行い、9月に特集して放映につながった。

例: 八木澤商店様

当社主催の説明会に参加した山口県青年会議所の方より、その後、当社およびファンド対象事業者である八木澤商店に対して、山口県での300名以上参加する講演会登壇の依頼があり、これを受け入れた。

具体例の紹介③

3. 販売支援

商品の製造開始後は、商品の販売支援として当社の会員向けにネット販売を行っている。また、当社以外での販路のご紹介も積極的に行っている。

例: 齊吉商店様

11月から当社にて販売開始し、現在までで、5,000円の商品を250個以上販売した。その他、12月現在、5社の商品の販売を実施予定。

例: 石渡商店様

当社に対して大企業より被災地支援を行いたいという相談があり、石渡商店の魅力を直接伝えるべく、当該大企業の役職員による現地訪問をアレンジ。その結果、同大企業による本ファンドへの資金提供につながったほか、商品製造再開時には、同大企業の通販サイトで商品の販売も行う予定。

4. その他支援者・協業者の獲得の支援

現在、当社は、被災地における企業の状況を把握しているという評価の下で、事実上、被災地支援に関する大企業などの相談窓口になっている。そこから具体的に資金面以外の支援においても振り分けると共に、WEBサイト上にもできるだけ具体的な今後の計画を明記することで、資金面以外にもサポートを得られる機会を増やすことに尽力。

例: 津田鮮魚店

ファンド募集時にWEBサイトに記載する事業計画の中に、飲食店の開店が含まれており、そのWEBサイトを見た、仙台の飲食店経営者の方が協業を申し出があり、実際の協業が確定し、飲食店を本年より開店することになった。

Implication

まとめ

- ✓ 国内の中小企業約420万社の資金ニーズと、膨大な個人金融資産が、共感や応援を動機として直接結びつくことによる、新たな資金媒介経路の確立の兆しが芽生えてきている。
- ✓ マイクロ投資による資金媒介経路の確立は、世界的にも稀な事例であり、国際的な競争力を持った「産業としての金融」の一分野になる可能性がある。
- ✓ 運営主体としては、投資先のパフォーマンス評価(受動的な取組み)だけでなく、有望な案件の発掘に加えて、投資先事業のパフォーマンスが向上するために様々な形で支援・協力を地道に行っていくこと(能動的な取組み)が重要である。

Appendix

会社概要

社名	ミュージックセキュリティーズ株式会社
本店/事業所所在地	東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10F
設立	2001年11月26日
資本金	1億7,246万5,300円(資本準備金:1億6,323万1,700円)
業務内容	事業の証券化業務(マイクロ投資プラットフォーム「セキュリテ」) 音楽制作・販売・著作権管理業務(音楽レーベル「MS Entertainment」)
登録	第二種金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1791号
代表取締役	小松真実
取締役	影山知明、讃岐邦正、猪尾愛隆、飯野将人、榊原智子
監査役	松下律、赤井厚雄、吉村龍吾
主要株主	小松真実 TM Innovation2005 投資事業有限責任組合(東京海上キャピタル株式会社) 三菱UFJベンチャーファンド二号投資事業有限責任組合 信金キャピタル一号投資事業有限責任組合 住友商事株式会社 他
取引金融機関	三井住友銀行日比谷支店、三菱東京UFJ銀行新橋支社
監査法人	新日本有限責任監査法人